

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

Applicant: H. Ogawa : Art Unit:
Serial No.: To Be Assigned : Examiner:
Filed: Herewith :
FOR: COMMUNICATION
APPARATUS AND
COMMUNICATION METHOD

CLAIM TO RIGHT OF PRIORITY

Assistant Commissioner for Patents
Washington, D.C. 20231
S I R :

Pursuant to 35 U.S.C. 119, Applicant's claim to the benefit of filing of prior Japanese Patent Application No. 2000-114793, filed April 7, 2000, is hereby confirmed.

A certified copy of the above-referenced applications is enclosed.

Respectfully submitted,



Lawrence E. Ashery, Reg. No. 34,515
Attorney for Applicant

LEA/dlm
Encls.: (1) certified priority document

Suite 301, One Westlakes, Berwyn
P.O. Box 980
Valley Forge, PA 19482
(610) 407-0700

The Assistant Commissioner for Patents is hereby authorized to charge payment to Deposit Account No. 18-0350 of any fees associated with this communication.

EXPRESS MAIL Mailing Label Number: EL769592752 US
Date of Deposit: December 11, 2000

I hereby certify that this paper and fee are being deposited, under 37 C.F.R. § 1.10 and with sufficient postage, using the "Express Mail Post Office to Addressee" service of the United States Postal Service on the date indicated above and that the deposit is addressed to the Assistant Commissioner for Patents, Washington, D.C. 20231.



Kathleen Libby

日本国特許庁
PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

11141-807 702
JCS19 U.S. PRO
09/734158
12/11/88

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されて
る事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed
in this Office.

出願年月日
Date of Application:

2000年 4月17日

願番号
Application Number:

特願2000-114793

願人
Applicant(s):

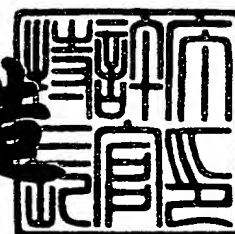
松下電送システム株式会社

CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT

2000年 9月29日

特許庁長官
Commissioner,
Patent Office

及川耕造



出証番号 出証特2000-3079757

【書類名】 特許願

【整理番号】 2952010130

【提出日】 平成12年 4月17日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 H04N 1/00

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都目黒区下目黒2丁目3番8号 松下電送システム株式会社内

 【氏名】 小川 秀彦

【特許出願人】

 【識別番号】 000187736

 【氏名又は名称】 松下電送システム株式会社

【代理人】

 【識別番号】 100097445

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 岩橋 文雄

【選任した代理人】

 【識別番号】 100103355

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 坂口 智康

【選任した代理人】

 【識別番号】 100109667

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 内藤 浩樹

【手数料の表示】

 【予納台帳番号】 011361

 【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

 【物件名】 明細書 1

特 2 0 0 0 - 1 1 4 7 9 3

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9809946

【書類名】 明細書

【発明の名称】 通信装置及び通信方法

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 パスワードを含む発信者情報を蓄積する記憶手段と、入力されたパスワードと前記記憶手段に蓄積された発信者情報を照合してパスワードの一致した発信者情報を読み出し、これを発信者情報として電子メールを送信する手段を具備することを特徴とする通信装置。

【請求項 2】 記憶手段に蓄積された発信者情報が少なくとも登録者の氏名、メールアドレスおよびパスワードを含む請求項 1 に記載の通信装置。

【請求項 3】 送信される発信者情報がメールアドレスであり、電子メールのメールヘッダ中の発信者欄で通知されることを特徴とする請求項 1 に記載の通信装置。

【請求項 4】 送信される発信者情報がメールアドレスおよび発信者名であり、電子メールのメールヘッダ中の発信者欄で通知されることを特徴とする請求項 1 に記載の通信装置。

【請求項 5】 送信される発信者情報が発信者名であり、電子メールのメールヘッダ中の発信者欄で通知されることを特徴とする請求項 1 に記載の通信装置。

【請求項 6】 発信者情報デフォルトを蓄積する第 2 の記憶手段を具備し、パスワードが入力されなかった場合またはパスワードに一致する発信者情報がない場合、前記発信者情報デフォルトを発信者情報として通知することを特徴とする請求項 1 に記載の通信装置。

【請求項 7】 発信者情報デフォルトが当該通信装置に対して特定された発信者名およびメールアドレスであることを特徴とする請求項 6 に記載の通信装置。

【請求項 8】 原稿を読み取ってイメージデータに変換するスキャナ手段と、前記イメージデータを蓄積する第 1 の記憶手段と、電子メールのメッセージ転送プロトコルに従って前記イメージデータを送信する手段と、パスワードを含む発信者情報を蓄積する第 2 の記憶手段と、入力されたパスワードと第 2 の記憶手段に蓄積された発信者情報を照合してパスワードの一致した発信者情報を選択し、選択した発信者情報を電子メール情報として送信する手段を具備するこ

とを特徴とする通信装置。（旧請求項 1）

【請求項 9】 電子メールの宛先を入力するステップと、パスワードの監視を確認するステップと、パスワードを入力するステップと、入力されたパスワードと発信者情報テーブルとを比較して一致したパスワードに対応する発信者情報を抽出するステップと、抽出した発信者情報を電子メールで送信するステップを具備することを特徴とするイメージデータの通信方法。

【請求項 10】 入力されたパスワードと発信者情報テーブルとを比較して一致したパスワードがないとき、発信者情報デフォルトを電子メールで送信するステップを具備することを特徴とする請求項 9 に記載イメージデータの通信方法。

【請求項 11】 電子メールの宛先を入力するステップと、パスワードの監視を確認するステップと、パスワードを監視しない場合、またはパスワードを入力しない場合、発信者情報デフォルトを電子メールで送信するステップを具備することを特徴とするイメージデータの通信方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、ネットワークファクシミリ装置等の通信装置およびそれを利用したイメージデータの通信方法に関する。

【0002】

【従来の技術】

ファクシミリでデータを送信する際に、送信データに発信者情報を含めることは一般的に行われている。この方法としては、通常、発信に使用するファクシミリ装置に発信者情報を予め登録しておき、この予め登録してある発信者情報を受信者側の受信原稿のイメージ上に上書きしたり、上端に記録する方法が採られている。

【0003】

この発信者情報をファクシミリ装置に登録する方法としては、一般的にはファクシミリ装置のパネルから入力して行われている。その他の方法では、パーソナルコンピュータ（以下 PC と記す）で作成したデータを公衆回線網を経由してフ

ファクシミリ装置に送り込む方法も行われている。

【 0 0 0 4 】

ネットワークファクシミリ装置等の通信装置の場合には、メールにより登録する方法も採用されている。

【 0 0 0 5 】

【発明が解決しようとする課題】

上述したように、通常のファクシミリ装置においては、受信原稿に発信者情報が上書きあるいは上端に記録されるので、受信原稿の本文中にたとえ発信者情報が書かれていなくても、上書きまたは上端に記録された発信者情報を見ることにより発信者が誰であるかを知ることが出来る。

【 0 0 0 6 】

しかし、インターネットなどのネットワークを経由して通信するネットワークファクシミリ装置においては、送信先がファクシミリのみではなく、PCやワークステーションのメール受信可能端末に原稿を送信する場合がある。これらのメール受信可能端末の場合には、受信側ではメール閲覧ソフトで受信データを確認するが、送信原稿はメールの添付ファイルの形式で送信されているため、受信者は添付ファイルを開いて内容を確認するまで発信者が誰であるかわからない問題があった。

【 0 0 0 7 】

また、受信側がメール閲覧ソフトの返信機能により返事を返した場合、常に送信したファクシミリに返送され、自己の意図する宛先に必ずしも通知できないという問題があった。

【 0 0 0 8 】

さらに、メールアドレス等の桁数の多いデータをファクシミリ装置に登録するには、ファクシミリ装置のパネルはあまり操作性が良くなく、登録に時間がかかる問題がある。一方、公衆回線網を利用した登録操作は、PC側に専用のプログラムが必要であり一般的ではない。さらに、メールによる登録操作は入力操作は容易であるが、ファクシミリ側で識別可能なフォーマットで登録する必要がある、予め登録のための知識が必要である。

【 0 0 0 9 】

本発明は、かかる点に鑑みてなされたものであり、第 1 の目的は、受信側がメール閲覧ソフトで受信した場合に、メールの添付ファイルを開くことなく発信者を確認することができる通信装置および通信方法を提供することである。

【 0 0 1 0 】

本発明の第 2 の目的は、メール閲覧ソフトの返信機能を用いた場合にも、発信者の意図した宛先に通知することを可能とする通信装置および通信方法を提供することである。

【 0 0 1 1 】

本発明の第 3 の目的は、多数登録された発信者情報の中から所望の発信者情報を短時間で選択可能な通信装置および通信方法を提供することである。

【 0 0 1 2 】

【課題を解決するための手段】

本発明は上記課題を解決するために、パスワードを含む発信者情報を蓄積する記憶手段と、入力されたパスワードと前記記憶手段に蓄積された発信者情報を照合してパスワードの一致した発信者情報を読み出し、これを発信者情報として電子メールを送信する手段を具備する構成を備えている。

【 0 0 1 3 】

これにより、インターネットを経由して電子メールによりイメージデータを送信する場合、送信側は送信毎に発信者欄にオペレータの意図する発信者情報を設定し、受信側は受信データの添付ファイルを開くことなく発信者を特定することができる。また、発信者情報が多数登録されていても、その中から所望の発信者情報を短時間で選択する事が出来る。

【 0 0 1 4 】

【発明の実施の形態】

請求項 1 に記載の発明は、パスワードを含む発信者情報を蓄積する記憶手段と、入力されたパスワードと前記記憶手段に蓄積された発信者情報を照合してパスワードの一致した発信者情報を読み出し、これを発信者情報として電子メールを送信する手段を具備するものである。

【 0 0 1 5 】

この構成により、受信側がメール閲覧ソフトで受信した場合に、メールの添付ファイルを開くことなく発信者を確認することができる。また、パスワードによる検索により多数登録された発信者情報の中から所望の発信者情報を短時間で選択する事が出来る。

【 0 0 1 6 】

請求項 2 に記載の発明は、請求項 1 に記載の通信装置において、記憶手段に蓄積された発信者情報が少なくとも登録者の氏名、メールアドレスおよびパスワードを含むものである。この構成により、多数登録された発信者情報の中からパスワードにより所望の発信者情報を短時間で選択する事が出来る。また、パスワードを知らない第三者に発信者情報を知られたり使用されたりするおそれがない。

【 0 0 1 7 】

請求項 3 に記載の発明は、請求項 1 に記載の通信装置において、送信される発信者情報がメールアドレスであり、電子メールのメールヘッダ中の発信者欄で通知されるものである。この構成により、電子メールのメールメッセージ本文中の発信者欄を見ることにより発信者が誰であるかを知ることが出来る。

【 0 0 1 8 】

請求項 4 に記載の発明は、請求項 1 に記載の通信装置において、送信される発信者情報がメールアドレスおよび発信者名であり、電子メールのメールヘッダ中の発信者欄で通知されるものである。この構成により、暗号のようなメールアドレス以外に発信者名も同時に表示されるので、発信者を確実に認識することが出来る。特に、発信者から初めて受信した場合は、メールアドレスだけでは発信者を特定することは困難であるが、発信者名も同時に表示されることにより、発信者の特定はずっと容易になる。

【 0 0 1 9 】

請求項 5 に記載の発明は、請求項 1 に記載の通信装置において、送信される発信者情報が発信者名であり、電子メールのメールヘッダ中の発信者欄で通知されるものである。この構成により、発信者を確実に認識することが出来る。

【 0 0 2 0 】

請求項 6 に記載の発明は、請求項 1 に記載の通信装置において、発信者情報デフォルトを蓄積する第 2 の記憶手段を具備し、パスワードが入力されなかった場合またはパスワードに一致する発信者情報がない場合、前記発信者情報デフォルトを発信者情報として通知するものである。この構成により、特定の発信者情報が送信されない場合でも、通信装置に固有の発信者情報が通知されるので、受信者は発信者を通信装置の使用者グループ単位などで知ることが出来る。

【 0 0 2 1 】

請求項 7 に記載の発明は、請求項 6 に記載の通信装置において、発信者情報デフォルトが当該通信装置に対して特定された発信者名および発信者アドレスであるものである。この構成により、特定の発信者情報が送信されない場合でも、通信装置に固有の発信者情報が通知されるので、受信者は発信者を通信装置の使用者グループ単位などで明確に知ることが出来る。

【 0 0 2 2 】

請求項 8 に記載の発明は、原稿を読み取ってイメージデータに変換するスキャナ手段と、前記イメージデータを蓄積する第 1 の記憶手段と、電子メールのメッセージ転送プロトコルに従って前記イメージデータを送信する送信する手段と、パスワードを含む発信者情報を蓄積する第 2 の記憶手段と、入力されたパスワードと第 2 の記憶手段に蓄積された発信者情報を照合してパスワードの一致した発信者情報を選択し、選択した発信者情報を電子メール情報として送信する手段を具備するものである。

【 0 0 2 3 】

この構成により、スキャナ手段を有する電子メール通信装置において、受信側がメール閲覧ソフトで受信した場合に、メールの添付ファイルを開くことなく発信者を確認することができる。また、パスワードによる検索により多数登録された発信者情報の中から所望の発信者情報を短時間で選択する事が出来る。

【 0 0 2 4 】

請求項 9 に記載の発明は、電子メールの宛先を入力するステップと、パスワードの監視を確認するステップと、パスワードを入力するステップと、入力されたパスワードと発信者情報テーブルとを比較して一致したパスワードに対応する発信

者情報を抽出するステップと、抽出した発信者情報を電子メールで送信するステップを具備するイメージデータの通信方法である。

【 0 0 2 5 】

この構成により、受信側がメール閲覧ソフトで受信した場合に、メールの添付ファイルを開くことなく発信者を確認することができる。また、パスワードによる検索により多数登録された発信者情報の中から所望の発信者情報を短時間で選択する事が出来る。

【 0 0 2 6 】

請求項 1 0 に記載の発明は、請求項 9 に記載の通信装置において、入力されたパスワードと発信者情報テーブルとを比較して一致したパスワードがないとき、発信者情報デフォルトを電子メールで送信するステップを具備するものである。この構成により、特定の発信者情報が送信されない場合でも、通信装置に固有の発信者情報が通知されるので、受信者は発信者を通信装置の使用者グループ単位などで知ることが出来る。

【 0 0 2 7 】

請求項 1 1 に記載の発明は、電子メールの宛先を入力するステップと、パスワードの監視を確認するステップと、パスワードを監視しない場合、またはパスワードを入力しない場合、発信者情報デフォルトを電子メールで送信するステップを具備するイメージデータの通信方法である。この構成により、特定の発信者情報が送信されない場合でも、通信装置に固有の発信者情報が通知されるので、受信者は発信者を通信装置の使用者グループ単位などで知ることが出来る。

【 0 0 2 8 】

以下本発明の実施例について、図面とともに説明する。

図 1 は、本発明の通信装置の全体構成を示すブロック構成図である。11は LAN（ローカルエリアネットワーク）回線で、インターネットの電子メールデータの送受信を行う。

【 0 0 2 9 】

13は CPU で、本装置全体の動作を制御する。14はパネル部で、イメージの読み込み指示、電子メールの宛先入力など本装置の各種の入出力動作を指示、

設定する。15はファクシミリデータの送受信を行うFAX通信部、16は受信データを記録紙に記録するための記録部、17はスキャナ20で読み込まれたイメージデータをバイナリデータに符号化し、またデータを圧縮したり伸長する符号化部、18は発信者情報、送信するイメージデータ、送信メールデータ等を格納するメモリ部、19は本装置の動作プログラムを格納したROM（リードオンリーメモリ）、20は原稿のイメージデータを電気信号として取り込むためのスキャナである。

【0030】

メモリ部18は、通信装置12のユーザ名とそのアドレスを対にしたデフォルト情報を記憶するデフォルト情報テーブル21、個々の発信者情報を蓄積する発信者情報テーブル22および送受信データのファイルを格納するファイル格納領域23を有している。

【0031】

24はモデムで、電話回線25を通じてFAX通信部15に対してファクシミリデータを送受信する。26はLAN11と通信装置12とを結合するためのインターフェースである。

【0032】

つぎに、本実施例におけるイメージデータの送受信の基本的な動作について説明する。まず、イメージデータを電子メールで送信する場合について説明する。送信すべき原稿をスキャナ20にセットしパネル部14のスタートボタンを押すと、ROM19に格納されているプログラムに従ってCPU13が作動し、スキャナ20は原稿を読み取り、読み取られたイメージデータは符号化部17でバイナリデータに符号化されてメモリ部18のファイル格納領域23に格納される。ファイル格納領域23に格納されたイメージデータはMimeと呼ばれるインターネットの電子メールの標準に従い7ビットのテキストコードに変換される。

【0033】

オペレータが発信者情報を指定しない場合には、デフォルト情報テーブル21に蓄積されているデフォルト情報が発信者情報として電子メール情報に付加される。一方、オペレータがパネル部14を操作して付加すべき発信者情報を発信者

情報テーブル 2 2 から選択した場合はその選択された発信者情報が電子メール情報として付加される。デフォルト情報および発信者情報の詳細については後述する。

【 0 0 3 4 】

こうしてファイル格納領域 2 3 に蓄積されたメール情報は発信者情報とともに LAN インターフェース 2 6 を経て LAN 回線 1 1 によりインターネットの電子メールとして、SMTP のような電子メールのメッセージ転送プロトコルに従って相手先に送信される。したがって、相手方は発信者情報を電子メール上で見ることが出来、たとえイメージデータが添付ファイルの形で送信されてきても添付ファイルを開かずに発信者を確認することが出来る。

【 0 0 3 5 】

一方、スキャナ 2 0 で読み取ったイメージデータを通常ファクシミリで送信する場合には、FAX 通信部 1 5 からモデム 2 4 を介して電話回 2 5 により相手方のファクシミリ装置に送信する。

【 0 0 3 6 】

送信されたイメージデータをインターネットを介して電子メールで受信した場合は、電子メールの画面上で見ることが出来る。受信したイメージデータはファイル格納領域 2 3 に一旦蓄積され、電子メール画面上で見ると共にファクシミリデータとして記録紙に記録することが出来る。この場合には蓄積されたイメージデータをフォーマット逆変換してファクシミリのフォーマットであるバイナリデータに変換し、符号化部 1 7 で逆符号化して可視イメージとして印刷可能なデータに変換して記録部 1 6 で記録紙に印刷する。こうして可視イメージとして受信される。

【 0 0 3 7 】

なお、イメージデータをインターネットでなく直接ファクシミリ受信データとして電話回線 2 5 で受信した場合は、通常ファクシミリ受信動作で FAX 通信部 1 5 を介して記録部 1 6 で印刷する。

【 0 0 3 8 】

つぎに、発信者情報の作成方法について説明する。

図 2 は発信者情報テーブル 2 2 に蓄積された発信者情報を示す。ファクシミリ機能を有する通信装置 1 2 は通常オフィスなどに設置され、複数のユーザが共用して使用する。したがって、発信者情報として各ユーザ固有の情報を使用する場合には、複数のユーザがそれぞれ自己の発信者情報を登録し、表示する必要がある。図 2 の発信者情報テーブルは複数のユーザを登録した状態を示している。登録される発信者情報としては個々のユーザの氏名 3 1 とそのメールアドレス 3 2 およびパスワード 3 3 が登録される。図 2 には説明を明確にするためにパスワード 3 3 の内容を表示しているが、実際には氏名 3 1 とメールアドレス 3 2 の部分しか見えず、パスワード 3 3 は「****」などの表示で隠されている。ユーザ登録の方法については後述する。

【 0 0 3 9 】

図 3 はデフォルト情報テーブル 2 1 に蓄積されたデフォルト情報を示す。デフォルト情報は通信装置 1 2 のユーザ名 4 1 とそのメールアドレス 4 2 とを対にして記憶しており、通信装置 1 2 の使用者が自己の発信者情報を設定しない場合に、送信メールに自動的に付加され、エラーメール等がある場合はそのアドレスに返信される。

【 0 0 4 0 】

つぎに、図 4 のフローチャートに基づいて本発明の動作を説明する。

【 0 0 4 1 】

ステップ（以下 S と略記する）1 において、スキャナ 2 0 に送信原稿をセットする。つぎに、S 2 でパネル部 1 4 を操作して送信する宛先を指定する。つぎに、S 3 で宛先指定が完了したか否かを確認する。完了した場合は S 4 に進み、完了していない場合には S 2 に戻って再度宛先入力を行う。

【 0 0 4 2 】

S 3 で宛て先指定が完了すると、S 4 でパスワードを監視するか否かを判定する画面が表示される。パスワードの監視とは発信者情報テーブル 2 2 にパスワードが登録されているか否か、すなわち、装置にパスワードが設定されている過否かを判定するプロセスである。装置にパスワードが登録されている場合は、S 5 に進みパスワード入力画面が提示されるので、所望のパスワードを入力する。装

置にパスワードが未登録でパスワード検索を行わない場合、装置の設定でパスワード検索モードがオフの場合、および電子メール送信でなくファクシミリ送信の場合にはパスワード監視をしないので、後述する S 1 1 に進む。

【0043】

S 5 でパスワードを入力すると、S 6 で発信者情報テーブルを参照し、そのパスワード欄 3 3 に記録されているパスワードとの照合が行われる。一致するパスワードが記録されている場合は S 7 に進み、発信者登録テーブルからパスワードの一致した発信者情報が抽出されて電子メールヘッダーの発信者欄である「From」欄に書き込まれる。この場合の発信者情報としては、メールアドレスおよび発信者名の両方またはいずれか一方が使用される。書き込まれた発信者情報は S 1 でファイル格納領域に読み込まれた送信原稿イメージと共に S 8 で電子メールまたはファクシミリ送信される。受信電子メールへの返信メールはこのメールアドレスに対して行われる。

【0044】

S 6 で入力パスワードが一致しなかった場合は S 9 でエラー表示して S 5 に戻り、再度パスワードを入力しなおして同様の操作を繰り返す。

【0045】

つぎに、パスワード監視をしない場合について説明する。S 4 でパスワードが未登録の場合またはパスワードを使用しないファクシミリ送信の場合には、S 1 1 に進む。S 1 1 では S 2 の宛先指定で電話番号が入力されたか否かを判定する。この判定は、たとえば、以下のいずれかの方法で行う。

(1) 数字のみからなる文字列が入力された場合はその文字列は電話番号であり、“@”がある文字列が入力された場合はその文字列は電子メールアドレスであると判定する。

(2) 操作時における送信モード設定の際に、インターネットボタンが押下されていないときは、入力された文字列は電話番号であると判定する。

(3) 操作時における送信モード設定の際に、ファクシミリモードのボタンが押下されたときは、入力された文字列は電話番号であると判定する。

(4) 入力された文字列に数字以外の文字がある時は電子メールアドレスである

と判定する。

(5) 入力された文字列の数字が電話番号で使用されている所定の桁数に満たない場合は電子メールアドレスであると判定する。

【0046】

なお、電話番号は地域によって異なったり、また、電話回線への接続の仕方によって最初に”0”を入力するいわゆるゼロ発信をしたり、内線ファクシミリなど種々の入力の仕方があるので、上記の方法の他に、それらの特性により電話番号と電子メールアドレスを区別できる方法で判定してもよい。

【0047】

上記の判定の結果、電話番号が入力されていると判定した場合には、電子メール送信ではなくファクシミリ送信の場合であるので、S12に進み、デフォルト情報テーブル21から図3に示したデフォルト情報を取り出し、送信原稿にこのデフォルト情報を付加してS8でファクシミリ送信する。デフォルト情報としては、通常、名称41が使用され、受信した原稿の最上端部に設定される発信者欄に日時などと共に印字される。

【0048】

S11で電話番号が入力されていないときは、電子メール送信であると判定してS13に進む。S13では、発信者情報検索画面が表示され、S14で発信者情報を示すキーワード、例えば登録者の名前や名称、メールアドレスなどを入力すると、S15で発信者情報テーブル22を照合し、一致するものがある場合は該当の発信者情報を取り出して電子メールヘッダーの「From」欄に書き込み、S8で電子メール送信する。S14でキーワード入力をしない場合はS12に進み、デフォルト情報テーブル21からデフォルト情報を取り出し、S8で電子メール送信する。受信電子メールへの返信メールはこのデフォルト情報のメールアドレスに対して行われる。

【0049】

S15で入力キーワードが一致しなかった場合はS16でエラー表示してS13に戻り、再度キーワードを入力しなおして同様の操作を繰り返す。

【0050】

なお、以上の説明では、発信者情報として氏名、メールアドレスおよびパスワードを使用した場合について説明したが、発信者情報としてその他に、所属部署や役職、従業員番号など発信者を特定できる各種情報を登録し、それらをキーワードとして検索するようにすることもできる。ただし、この場合は、第三者への秘匿性は無い。

【 0 0 5 1 】

また、以上の説明では、パスワードが登録されている場合はパスワード入力して発信者情報検索を行う場合について説明したが、初期設定でパスワード入力をしないように設定して、常にデフォルト情報を使用するようにすることもできる。

【 0 0 5 2 】

【発明の効果】

以上のように本発明は、インターネットを経由して電子メールでイメージデータを送信する場合、送信側は送信毎に発信者欄にオペレータの意図する発信者情報を設定し、受信側は受信データの添付ファイルを開くことなく発信者を特定することができる。

【 0 0 5 3 】

また、発信者情報メモリに多数の発信者情報が登録されている場合において、パスワードによる検索により多数登録された発信者情報の中から所望の発信者情報を短時間で選択する事が出来る。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本発明による通信装置の実施例における全体構成を示すブロック図

【図 2】

本発明に使用される発信者情報テーブルの一例を示す概念図

【図 3】

本発明に使用されるデフォルト情報テーブルの一例を示す概念図

【図 4】

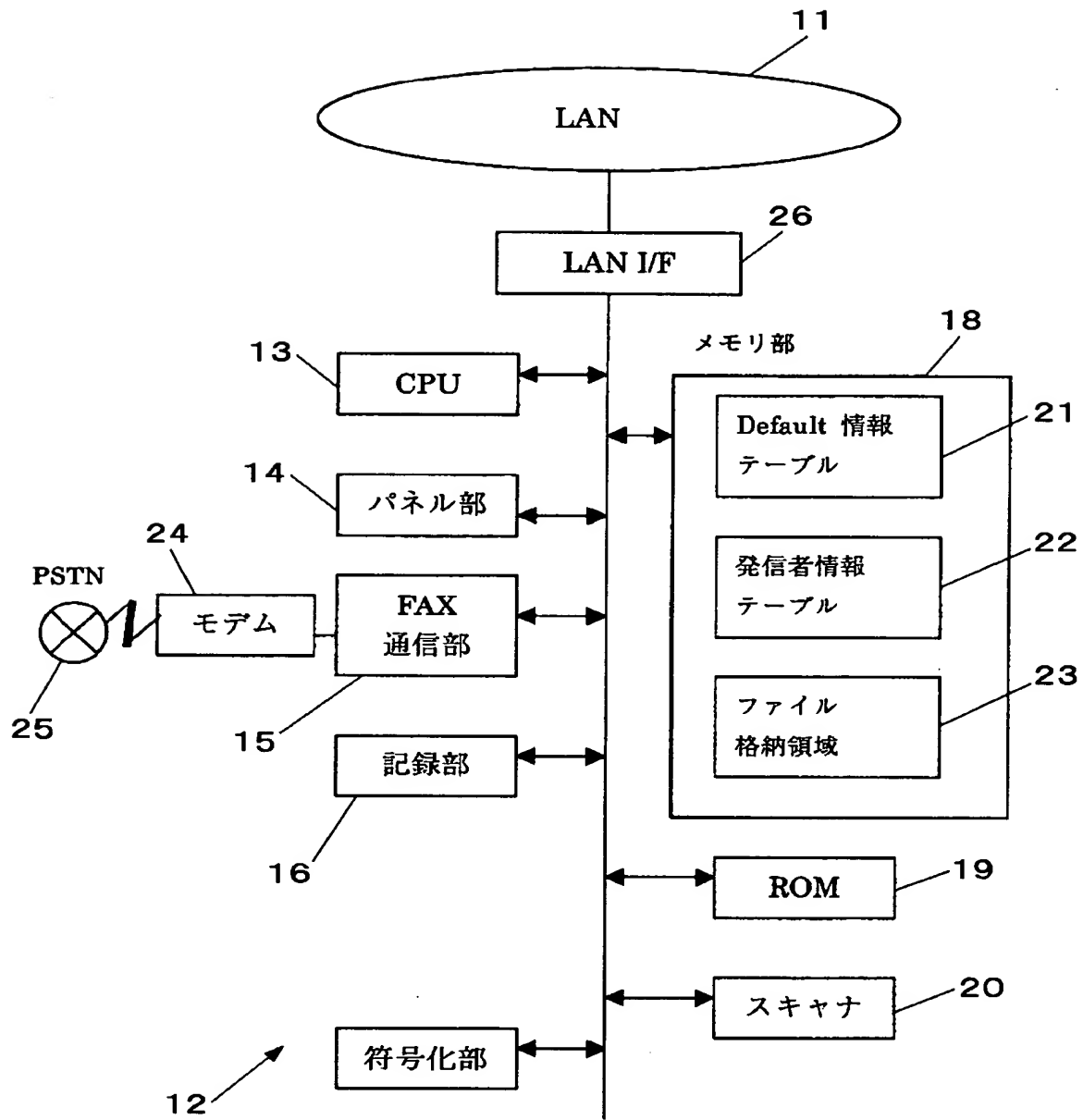
本発明による通信装置の動作を説明する動作フロー図

【符号の説明】

- 1 1 L A N 回線
- 1 2 通信装置
- 1 3 C P U
- 1 4 パネル部
- 1 5 F A X 通信部
- 1 6 記録部
- 1 7 符号化部
- 1 8 メモリ部
- 1 9 R O M (リードオンリーメモリ)
- 2 0 スキャナ
- 2 1 デフォルト情報テーブル
- 2 2 発信者情報テーブル
- 2 3 ファイル格納領域
- 2 4 モデム
- 2 5 電話回線
- 2 6 インターフェース
- 3 1 氏名
- 3 2 メールアドレス
- 3 3 パスワード
- 4 1 ユーザ名
- 4 2 メールアドレス

【書類名】 図面

【図1】



【図 2】

発信者情報テーブル 31

32

33

氏 名	Mail Address	パスワード
H. Ogawa	hogawa@panasonic.co.jp	042253
T. Wakabayashi	twakaba@panasonic.co.jp	091159
K. Toyoda	ktoyo@panasonic.co.jp	114255

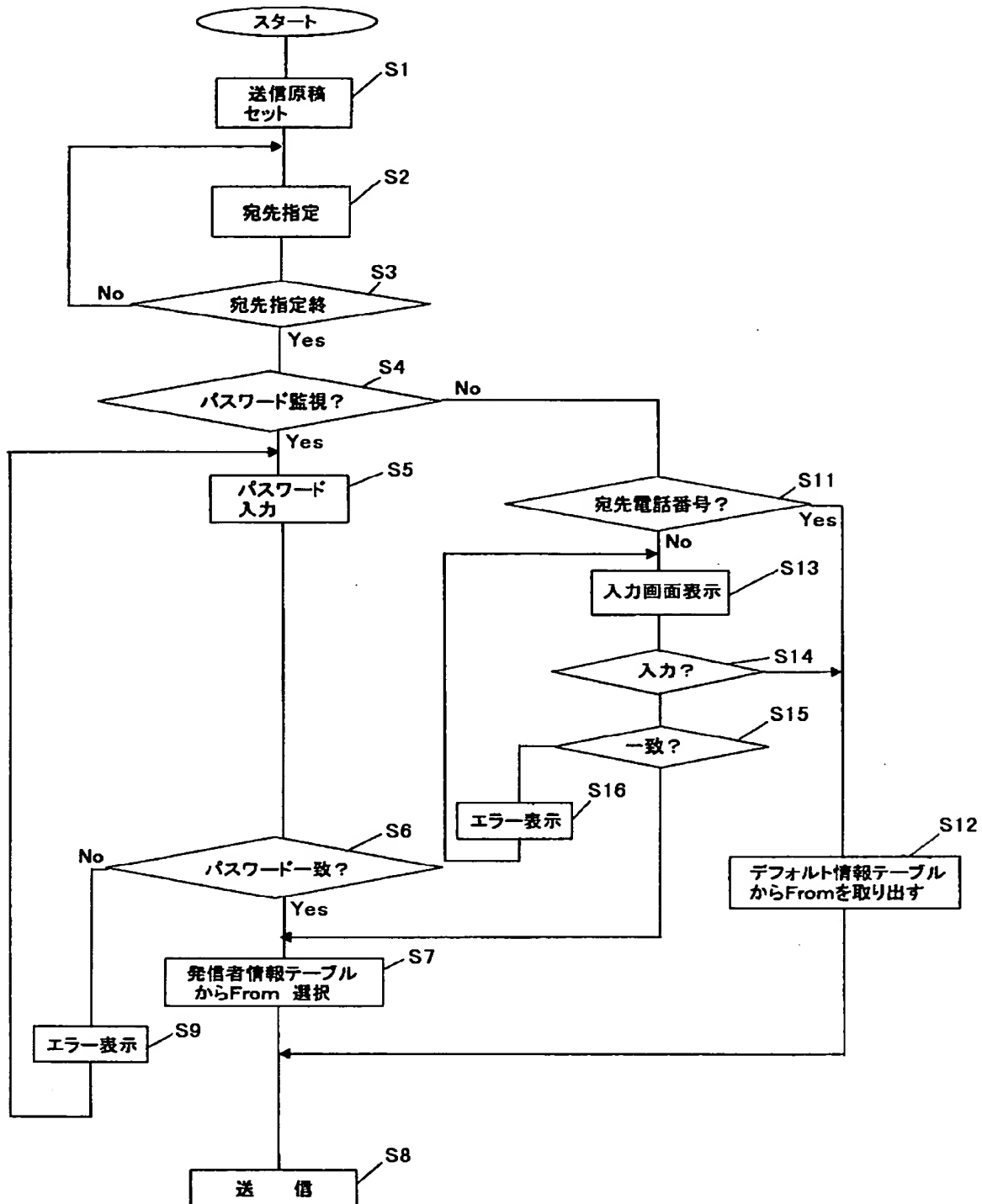
【図 3】

Default 情報テーブル 41

42

名称	Mail Address
MGCS IFAX	ifax01@panasonic.jp

【図 4】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 多数登録された発信者情報の中から所望の発信者情報を短時間で選択可能な通信装置および通信方法を提供する。

【解決手段】 メモリ部 1 8 のデフォルト情報テーブル 2 1 に通信装置 1 2 のデフォルト情報、発信者情報テーブル 2 2 にパスワードを含む発信者情報を記憶させ、入力されたパスワードで発信者情報テーブル 2 2 に蓄積された発信者情報を照合してパスワードの一致した発信者情報を選択し、送信データに発信者情報を付加する。

これにより、発信者情報テーブル 2 2 に発信者情報が多数登録されていても、その中から所望の発信者情報を短時間で選択する事が出来る。

【選択図】 図 1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000187736]

1. 変更年月日	1998年 4月13日
[変更理由]	名称変更
住 所	東京都目黒区下目黒2丁目3番8号
氏 名	松下電送システム株式会社